

|                  |   |        |  |                        |                             |                 |
|------------------|---|--------|--|------------------------|-----------------------------|-----------------|
| 科目名<br>Subject   | 美容デザイン実習Ⅱ<br>Practice of Beauty Design Ⅱ  |        |  | 教員名                    | ヘアチーム                       |                 |
| 開講年次             | 1   | 開講時期   | 前期   | 単位                     | 2単位                         |                 |
| 必修／選択            | 選択  | 授業形態   | 実習   | 時間                     | 60時間                        |                 |
| 実践的教育            | ○   |        |  |                        |                             |                 |
| 主な学習効果           | 知識・技能   | 主体的行動力 | 課題解決能力   | 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力 | 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力 | 美しく生きる力を実践できる能力 |
|                  | ◎   |        | ○  | ○                      |                             |                 |
| 科目の概要            | 1)サロンの現場を主体とした実践教育（技術）を導入し、技術力を明確に蓄積していく。サロンの現場で必要とされる技術を学び、実践を重ねることによりステップアップを図る。<br>2)自身の目標達成の為、技術施術中の動画を撮影し、改善課題を確認・分析して更なる技術の向上を図る。その際、ペアで動画撮影し学生が互いにフィードバックし合える機会も作ることによって、より多くの気づきが得られる授業を展開する。<br>3)美容技術教育プログラム・ピボットポイントシステムを基に、ヘアカットを学ぶ。ヘアカットの基礎理論を理解すると共に頭部マネキンを使用して基礎テクニックを習得する。また映像や資料を多く使用する事で創造力を刺激し、他者のニーズを踏まえて「美」を表現するデザイン力の基盤を作り上げる。<br>4)習得した知識や技術を繰り返し復習し実践することで、自身の課題発見につなげ、応用する場面を想定できるようにしていく。 |        |  |                        |                             |                 |
| 授業方法             | 対面授業<br>ただし、状況次第でZOOMによる同時双方向（リアルタイム）のオンライン授業に切り替えることや、密の分散のため受講者を区切り、対面授業とオンライン授業を併用する可能性もある。  |        |  |                        |                             |                 |
| 授業の目標            | 1)美容に関する基礎的理論と知識を学び、実習を通して基礎技術を効率的に実践できる。<br>2)世界基準のカット理論であるピボットポイントのベーシックフォームの特徴を説明できるようになる。また、ヘアカット・ブローの基礎プロセスを実践する事で、サロンで必要となる美容技術の基盤作りができる。   |        |  |                        |                             |                 |
| 時間外学習<br>（予習・復習） | 学んだ技術の振り返りを行い、研究しながら繰り返し練習する。また、学習・練習内容をノートに記録し、次の技術目標を設定する。なお、各回の復習には概ね60～90分程度行い、次回の授業の際に技術が後退しないように定着させておくこと。  |        |  |                        |                             |                 |
| 教科書・教材           | 教科書   |        | 『美容技術理論 1.2』日本理容美容教育センター編（2023年）、HAIR SCULPTURE PIVOT POINT（2014）、『COLOR DESIGN』PIVOT POINT、教員作成資料 |                        |                             |                 |
|                  | 教材  |        | メッシュ袋・スマートフォン  |                        |                             |                 |
|                  | 使用設備・備品   |        | なし   |                        |                             |                 |
|                  | 参考文献  |        | なし   |                        |                             |                 |
| 評価方法             | 授業態度 10％、提出物（技術課題） 10％、期末試験 80％   |        |  |                        |                             |                 |
|                  | なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。  |        |  |                        |                             |                 |
| 学生へのフィードバックの方法   | 個別に実地指導を行います。   |        |  |                        |                             |                 |
|                  |   |        |  |                        |                             |                 |
| 履修上の注意           | 美容技術を学ぶにあたり、遅刻・欠席はスキルアップに支障が出る為、原則認めません。また、その為に再度デモンストレーション等の時間は設けません。授業中の私語、勝手な退出等の不適切と思われる行為を行った場合は、欠席と同等の扱いとします。   |        |  |                        |                             |                 |
| 本科目履修と関連する資格     | 資格名   | なし     |  |                        |                             |                 |

| 授業計画 |  |                                       |  |
|------|--|---------------------------------------|--|
|      | 授業内容   | 到達目標                                  | 時間外学習・備考   |
| 第1回  | オリエンテーション①<br>美容における用具の区分と名称<br>美容道具の扱い方を学ぶ                        | 美容における用具類の区分と取り扱い方を理解し、説明することができる     | 配布資料を熟読し、ノートにまとめ授業内容の復習をすること 60分                           |
| 第2回  | オリエンテーション②<br>PIVOT POINT<br>hair sculpture理論(1)<br>ヘアデザイナーの考え方を学ぶ | 授業に関する諸注意を知り、hair sculpture基礎理論を説明できる | 予習：トレンドヘアスタイルを3点準備を行う。30分<br>復習：授業の振り返りを行う。30分             |
| 第3回  | 美容における頭部の区分と名称を学ぶ  | 美容における頭部の区分と名称を理解し、説明することができる         | 美容技術理論1のテキスト序章・1章、配布資料を熟読し、行った技術等ノートにまとめ授業内容の復習をすること 60分   |
| 第4回  | PIVOT POINT<br>hair sculpture理論(2)<br>シザーズの扱い方・開閉を実践する             | シザーズの使用方法を説明できる                       | 予習：道具の使用例を調べる。30分<br>復習：自分の使用しやすいシザーズの持ち方を探す。30分           |
| 第5回  | ヘア・カットting(1)<br>頭部ブロックングを実践する                                     | 頭部の名称を覚え、ブロックングを確実に行うことができる           | 美容技術理論1のテキスト4章、配布資料を熟読し、行った技術等ノートにまとめ授業内容の復習をすること 60分      |
| 第6回  | ヘア・カットting(2)<br>モデルウィッグ(オールウェーブ用) トップ・サイド部分カットを実践する               | トップ・サイド部分のカット技術を理解し、実践することができる        | 美容技術理論1のテキスト4章、配布資料を熟読し、行った技術等ノートにまとめ授業内容の復習をすること 60分      |
| 第7回  | ヘア・カットting(3)<br>モデルウィッグ(オールウェーブ用) バック部分カットを実践する                   | バック部分のカット技術を理解し、実践することができる            | 美容技術理論1のテキスト4章、配布資料を熟読し、行った技術等ノートにまとめ授業内容の復習をすること 60分      |
| 第8回  | ヘア・カットting(4)<br>モデルウィッグ(オールウェーブ用) ネープ部分カットを実践する                   | ネープ部分のカット技術を理解し、実践することができる            | 美容技術理論1のテキスト4章、配布資料を熟読し、行った技術等授業内容の復習をすること 60分             |
| 第9回  | ヘア・カットting(5)<br>モデルウィッグ(ワインディング用) トップ・サイド部分カットを実践する               | トップ・サイド部分のカット技術を理解し、実践することができる        | 美容技術理論1のテキスト4章、配布資料を熟読し、行った技術等ノートにまとめ授業内容の復習をすること 60分      |
| 第10回 | ヘア・カットting(6)<br>モデルウィッグ(ワインディング用) バック部分カットを実践する                   | バック部分のカット技術を理解し、実践することができる            | 美容技術理論1のテキスト4章、配布資料を熟読し、行った技術等ノートにまとめ授業内容の復習をすること 60分      |
| 第11回 | ヘア・カットting(7)<br>最終チェック<br>モデルウィッグ(ワインディング用) ネープ部分カットを実践する         | ネープ部分のカット技術を理解し、実践することができる            | 美容技術理論1のテキスト4章、配布資料を熟読し、行った技術等ノートにまとめ授業内容の復習をすること 60分      |
| 第12回 | PIVOT POINT<br>ワンレングス(1)<br>基礎理論・ブロー理論を学ぶ                          | ブロー、ワンレングスの基礎理論を述べることができる             | 予習：ワンレングス理論(P20～26、44～52)の熟読。30分<br>復習：授業の振り返りを行う・黒板板書。30分 |
| 第13回 | ワンレングス(2)<br>課題2-1を実践し、スタイル評価(A～Zまで)を受ける                           | 部分かつらでワンレングススタイルをカット＆ブローすることができる      | 予習：課題2-1(P27～29)の熟読。30分<br>復習：授業の振り返りを行う・黒板板書。30分          |
| 第14回 | グラデーション(1)<br>基礎理論を学ぶ  | グラデーションの基礎理論を説明できる                    | 予習：グラデーション理論(P82～91)の熟読。30分<br>復習：授業の振り返りを行う。30分           |
| 第15回 | グラデーション(2)<br>課題2-2、3を実践し、スタイル評価(A～Zまで)を受ける                        | 部分かつらでグラデーションヘアスタイルをカット＆ブローすることができる   | 予習：課題2-2、3(P30～36)の熟読。30分<br>復習：授業の振り返りを行う・黒板板書の見直し。30分    |

| 授業計画 |   |   |   |
|------|---|---|---|
|      | 授業内容  | 到達目標                                    | 予習・復習・備考  |
| 第16回 | レイヤー（１）<br>基礎理論を学ぶ                              | レイヤーの基礎理論を説明できる                         | 予習：レイヤー理論（P110～117）の熟読。30分<br>復習：授業の振り返りを行う。30分             |
| 第17回 | レイヤー（２）<br>課題２－４を実践し、スタイル評価（A～Zまで）を受ける          | 部分かつらでレイヤーヘアスタイルをカット＆ブローすることができる。       | 予習：課題２－４（P37～39）の熟読。30分<br>復習：授業の振り返りを行う・黒板板書の見直し。30分       |
| 第18回 | セიმレイヤー（１）<br>基礎理論を学ぶ                           | セიმレイヤーの基礎理論を説明できる。                     | 予習：セიმレイヤー理論（P142～147）の熟読。30分<br>復習：授業の振り返りを行う。30分          |
| 第19回 | セიმレイヤー（２）<br>課題２－５を実践し、スタイル評価（A～Zまで）を受ける       | 部分かつらでセიმレイヤーヘアスタイルをカット＆ブローすることができる。    | 予習：課題２－４（P40～42）の熟読。30分<br>復習：授業の振り返りを行う・黒板板書の見直し。30分       |
| 第20回 | アドバンス（１）<br>基礎理論と課題ウィッグの観察方法を学ぶ                 | アドバンスの基礎理論を説明できる。また、展開図・手順図を作成することができる。 | 予習：アドバンス理論（P164～172）の再熟読。30分<br>復習：授業の振り返りを行う。30分           |
| 第21回 | アドバンス（２）<br>課題ウィッグと同じになるようにカットできるかを学ぶ           | 美容の逆算思考を実施することができる                      | 予習：展開図の書く練習をしておく。30分<br>復習：授業の振り返りを行う。30分                   |
| 第22回 | ワンレングス（３）<br>基礎理論を再確認し、トレンド・全体のヘアバランスを学ぶ        | ワンレングスヘアスタイルの種類と全体バランス・展開図を述べることができる    | 予習：ワンレングス理論（P20～26、44～52）の再熟読。30分<br>復習：授業の振り返りを行う。30分      |
| 第23回 | ワンレングス（４）<br>課題２－W1を実践し、スタイル評価（A～Zまで）を受ける       | ワンレングススタイル（平行ライン）を行うことができるようになる         | 予習：課題２－W1（P53～59）の熟読・予測記入。50分<br>復習：授業の振り返りを行う・黒板板書の見直し。30分 |
| 第24回 | グラデーション（３）<br>基礎理論を再確認し、トレンド・全体のヘアバランスを学ぶ       | グラデーションヘアスタイルの種類と全体バランス・展開図を述べることができる   | 予習：グラデーション理論（P82～91）の再熟読。30分<br>復習：授業の振り返りを行う。30分           |
| 第25回 | グラデーション（４）<br>課題２－W4を実践し、スタイル評価（A～Zまで）を受ける      | グラデーションスタイル（斜め前下がリライン）を行うことができるようになる。   | 予習：課題２－W4（P92～96）の再熟読・予測記入。50分<br>復習：授業の振り返りを行う・黒板板書見直し。30分 |
| 第26回 | ブロー（１）<br>基礎理論を再確認し、デンマンブラシ・ロールブラシの施術を実践する      | デンマンブラシ・ロールブラシを使用したブローテクニックを行うことができる    | 予習：ウィッグでのブロー練習を行っておく。30分<br>復習：授業の振り返りを行う。30分               |
| 第27回 | ブロー（２）<br>スケルトンブラシを実践し、その後、相モデルでのブローの練習を行う      | スケルトンブラシを使用したブローテクニックを行うことができる          | 予習：人頭モデルでのブロー練習をしておく。30分<br>復習：授業の振り返りを行う。30分               |
| 第28回 | 刈り上げ（１）<br>基礎理論を学ぶ                              | 刈り上げ理論を説明することができる                       | 予習：刈り上げの語源を調べる。30分<br>復習：授業の振り返りを行う。30分                     |
| 第29回 | 刈り上げ（２）<br>かつらで練習を行い、その後ウィッグで自由制作を行う。作品の他者評価をする | 刈り上げテクニックを使い、ウィッグで自由制作を行うことができる         | 予習：自由制作に向けてデザインを考える。30分<br>復習：他者評価の考察を行う。30分                |
| 第30回 | グループワークの実践                                      | 他者の作品および自己の作品についてプレゼンテーションができる          | 復習：他者の作品から得たヒントを活かし、新しい自由創作スタイルを作ってみる（60分程度）                |